

# モダン・ジャズ

## モダン・ジャズの特徴

「モダン・ジャズ」は「スウィング・ジャズ」以降に誕生した小編成のジャズ・アンサンブルで演奏されるスタイル。現代でも多くの楽曲で採用される、不朽のリズムパターンといえるでしょう。

音楽的な特徴としては、4ビートのシンバル・レガートはそのままに、キックやスネアはアドリブ的に配置していくのが最大の特徴です。それゆえに、固定のリズムパターンは存在せず、どう演奏するかはドラマーの一存に委ねられています。

- 4ビートのシンバル・レガートとアドリブ的なキック&スネア
- もちろん「裏ノリ」
- スウィング・ジャズ同様ルーズでふくよかな音色

## 4ビートのシンバル・レガート とアドリブ的なキック & スネア

「モダン・ジャズ」においても、ジャズを象徴するシンバル・レガートは健在。

しかしながら、キックとスネアに決まったパターンは存在せず、  
ほぼアドリブ的に挿入されます。

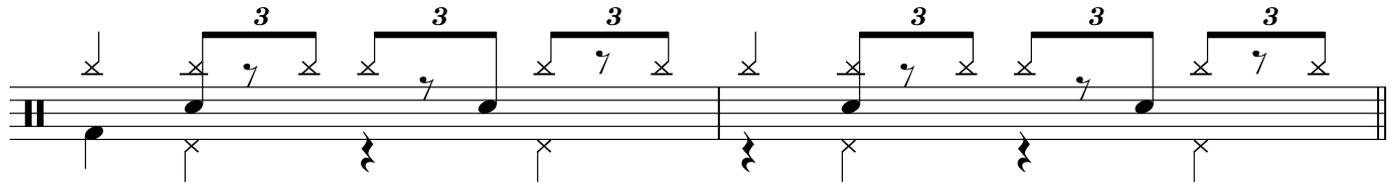
キックは主にアクセントをつけたい場所でのみ演奏し、  
スネアはコンピングを中心としたランダムな配置となります。

## もちろん「裏ノリ」

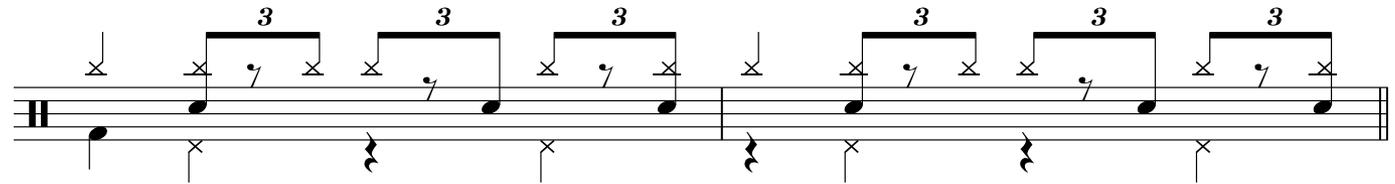
「スウィング・ジャズ」同様、  
「モダン・ジャズ」もジャズ的一种ですから、無論「裏ノリ」となります。

# モダン・ジャズ

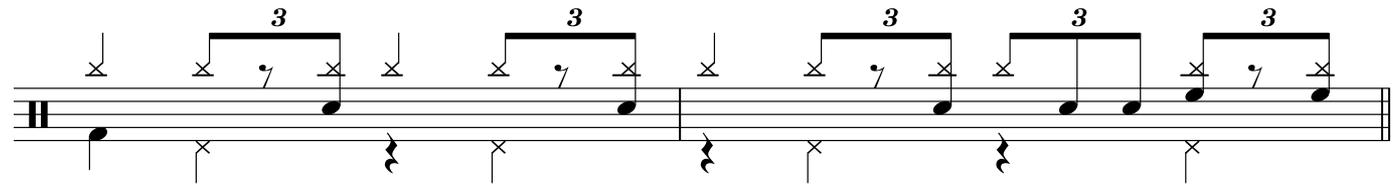
パターン①



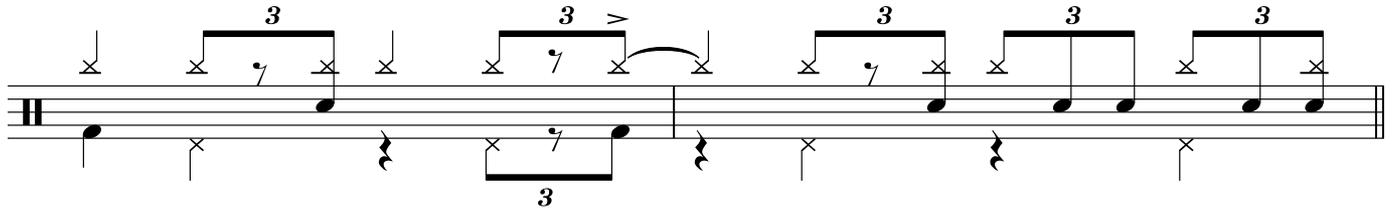
パターン②



パターン③

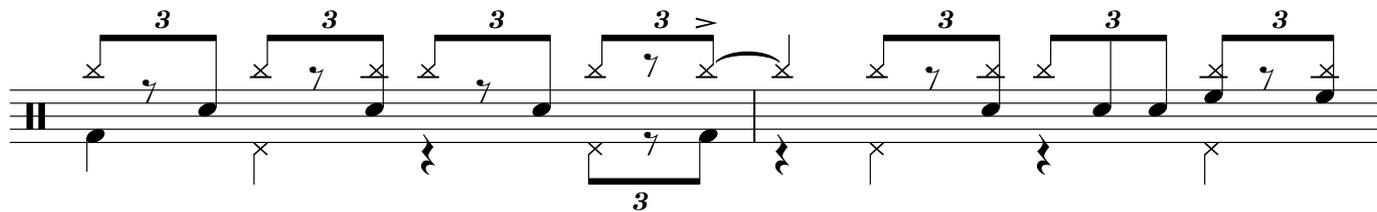


パターン④

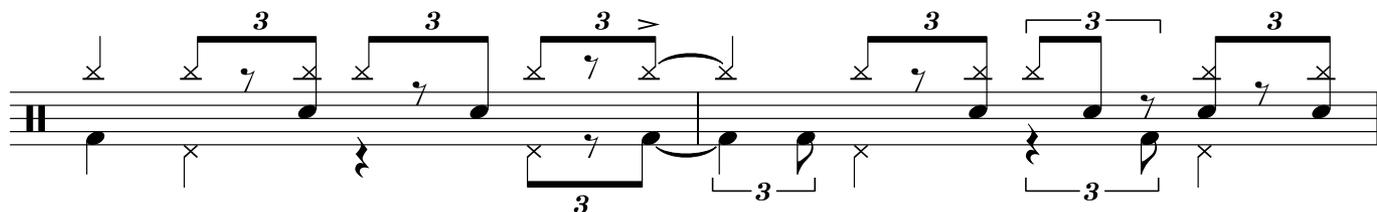


# モダン・ジャズ

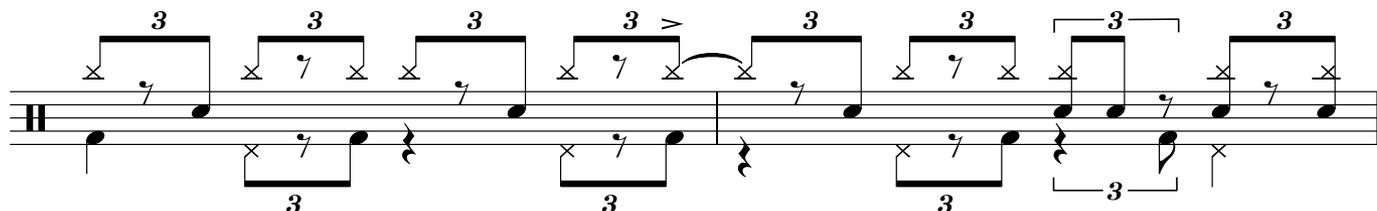
パターン⑤



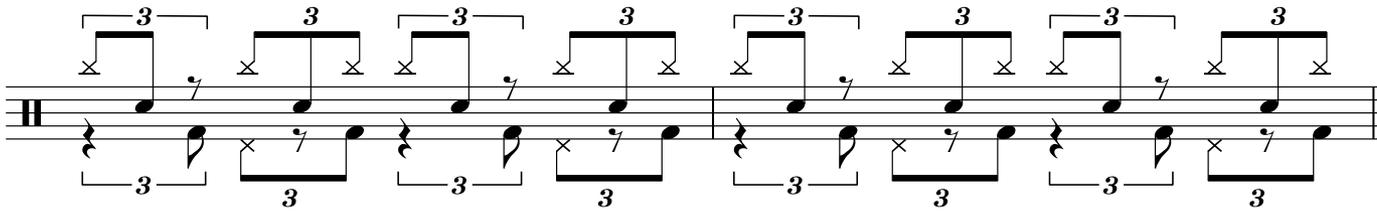
パターン⑥



パターン⑦



パターン⑧



# モダン・ジャズの音色選び

モダン・ジャズにおいても

「ジャズ特有のルーズでふくよかな音色」を選ぶと良いでしょう。

スネアのコンピングに色彩感が出るよう、ベロシティによる音色の変化にメリハリが感じられるキットがぴったりですね。

基本的には、スウィング・ジャズ同様に

- ルーズなアタック(打音)
- ピッチ(音程)の高いキック
- クリアすぎないサウンド(空気感)

といった特徴を持つキットが最適です。

# モダン・ジャズ打込みのコツ

## ■ モダン・ジャズのベロシティ

4ビートにおけるベロシティの基本をしっかり守りましょう。  
「2&4拍目>1&3拍目>3連ウラ」の力関係となります。  
また、シンコペーションにはアクセントが付くのが慣例ですので、  
強めのベロシティでしっかりと鳴らし、スネアのコンピングなど、  
3連符を演奏する場合は、「アタマ>3連ウラ>まん中」の関係になります。

## ■ モダン・ジャズのクオンタイズ

クオンタイズも同様に、4ビートにおけるクオンタイズの基本に則ります。  
やはり3連ウラはしっかりスウィングさせるのがコツです。  
またスネア、タム、キックなどによる3連コンピングは、  
クオンタイズグリッドを3連符に設定したクオンタイズをさらに  
スウィングさせることで心地よいグルーブが生まれ出せます。